

教育・福祉研究センター規程

(1999年1月13日研究員会議承認)

(目的)

第1条 本センターは、本学の建学の理念であるヒューマニズムに基づき社会の発展と福祉に貢献するため、本学の教員を中心に学外からの協力も得て、特色ある共同研究および個人研究を推進し、その成果を社会に示して本学の研究と教育の向上をはかるとともに、地域の市民の福祉と生涯学習に役立つためのサービス活動をおこなうことを目的とする。

(名称)

第2条 本センターを白梅学園短期大学教育・福祉研究センターと称する。

(事業)

第3条 センターは次の事業を行う。

- (1) 個人研究、共同研究等の推進
- (2) 生涯学習および教育・福祉相談等の地域サービスの実施
- (3) 『研究年報』等の発行
- (4) 資料の収集および管理
- (5) 教育・福祉研究にかかわる国際交流の推進
- (6) 研究会、セミナー及び講演会等の開催
- (7) その他、教育・福祉研究に関する事業

(スタッフ)

第4条 センターに次のスタッフをおく。

- (1) センター長 1名
- (2) 運営委員 8名
- (3) 研究員
- (4) 客員研究員
- (5) 嘱託研究員
- (6) 事務担当員

第5条 センター長はセンターの管理・運営を統轄する。

2 センター長は学長が兼務する。

第6条 運営委員はセンター長のもとに事業の運営にあたる。

2 運営委員の内4名は9条に定める研究員会議により研究員のなかから選出され、他の4名はセンター長が研究員会議の議を経て委嘱するものとする。

3 委員の任期は2年とする。

4 研究員会議で選出される委員の再任は2期を限度とし、また、離任後4年間は選出しないものとする。

5 研究員会議における委員の選出は、委員の任期の2分の1の期間毎に、研究員の中から選出する委員の半数とする。

第7条 研究員はセンターの調査・研究等の活動に従事し、その成果をセンターの『研究年報』等に発表する。

2 本学専任教員は研究員となることができる。研究員の委嘱はセンター長が行う。

第8条 センターに客員研究員および嘱託研究員をおくことができる。

- 2 客員研究員は、他の教育・研究機関に属する研究員につき、期間を区切ってセンター長が委嘱する。
- 3 嘱託研究員は、定められた期間センターにおいて研究員と共同研究を行う者につき、センター長が委嘱する。
- 4 客員研究員および嘱託研究員に関して必要な事項は別に定める。

(運営組織)

第9条 センターに研究員会議を設け、年2回以上これを開催する。

- 2 研究員会議はセンター長、運営委員および研究員をもって構成する。
- 3 研究員会議はセンターの事業計画と予算・決算、研究助成および成果の公開等について審議する。
- 4 研究員会議の議長はセンター長とし、センター長がこれを招集する。

第10条 センターに運営委員会をおく。

- 2 運営委員会はセンター長および第6条に定める運営委員をもって構成する。
- 3 運営委員会は研究員会議の委嘱するところにもとづきセンターの運営と活動の推進にあたる。
- 4 運営委員会は委員の中から教育・福祉研究センター『研究年報』編集委員会の編集委員長を互選する。
- 5 センター長は必要に応じ運営委員長を委嘱することができる。

(報告の義務)

第11条 センターにおいて研究及び事業を実施した者は、その成果を事業の終了後速やかに、センター長に報告しなければならない。

- 2 センター長は、必要に応じて、事業の実施担当者に報告をもとめることができる。
- 3 センター長は、報告に基づき、研究及び事業内容を公表しなければならない。

(資料室)

第12条 センターに、教育・福祉研究に必要な図書、資料を収集し管理するため資料室を設置する。

(事業報告)

第13条 センター長は、毎年1回以上、研究の成果を公開しなければならない。

- 2 センター長は、毎年1回、センターの事業内容及び経費について、教授会に報告しなければならない。